

日本文化の秋

2011年11月12日(土)～11月27日まで、「日本文化の秋」と称し、以下の文化事業を実施いたしました。

●邦楽公演 OYAMA X NITTA

小山流二代目小山豊氏と新田流二代目新田昌弘氏で構成される「OYAMA X NITTA」の津軽三味線奏者を中心に、尺八の元永弘氏、パーカッションのヒダノ修一氏、ベースの高橋ゲタ夫氏、和太鼓のしんた氏の6名による公演を2回実施しました。12日(土)は、サントドミンゴ自治大学図書館講堂において、13日(日)は、サンティアゴのシバオ国立劇場で行い、初日のサントドミンゴ公演では、チチペラルタ氏も数曲を一緒に演奏しました。伝統楽器の三味線を使いつつ、現代風にアレンジされた公演は、観客にとり大変新鮮で、両公演共に大成功を収めました。



<チチ・ペラルタと>



<サントドミンゴ公演>



<サンティアゴ公演>



<盛り上がる観客>

●日本語スピーチコンテスト

11月20日（日）、APEC大学講堂において、第2回日本語スピーチコンテストが行われました。暗唱部門、グループ部門、スピーチ部門の3部門を実施し、それぞれの1～3位が表彰されました。



<集合写真>



<優勝者>

●俳句コンクール表彰式

文化省が企画した俳句コンクールの優勝者に対する表彰式が11月23日（水）、文化省で行われました。29作品のうち、ルイス・レイナルド・ペレス氏の「悦びの月」が最優秀賞に選ばれ、同作品集は、文化省の支援により、2012年4月の図書展の際に、日・スペイン語両言語で出版される予定です。



<表彰されるペレス氏>

● J - F e s t

11月27日(日)、第3回J - F e s tがAPEC大学第二キャンパスで行われました。アニメコンテスト、コスプレ大会、カラオケ大会、ゲーム等、日本のポップカルチャーに関するイベントが多数行われ、会場内は様々なコスプレを楽しむ来客で満員となりました。当館は、日本の世界遺産等の展示コーナーを設け、また、UAS大学剣道部によるデモンストレーションも行われました。



<満員の会場>



<コスプレを楽しむ来客>